

👑 謹んで新春のお慶びを申し上げます 👑

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止について、利用者の皆様やご家族及び関係者の方々には多くのご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
 長引く面会や外泊・外出等の制限で、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしております。
 このような中でも、利用者の皆様は社会復帰を目指して、各種リハビリプログラムに励み、充実した日々を過ごされていらっしゃるようです。
 自粛中に充電した気力と体力と忍耐のエネルギーを、今年度は牛の歩みのように一歩ずつ前進できる力に変えて下さると思います。
 さて、昨年度は『就労定着支援センター』を開設いたしました。「にじ」を退所し、就労された方が安心して職場に定着できるように、継続して支援を行ってまいります。
 これからも『障害者支援施設 にじ』では皆様の社会復帰への目標達成に向けて、職員一同努力してまいります。
 新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

障害者支援施設 にじ
 施設長 古本 節子



利用者お茶会

「にじ」では月に1度お茶会を行っています。

自由参加ではありますが、皆様毎回楽しみにして下さっています
 ある利用者の方はスピーカーをご準備してくださり、音楽を提供して素敵な雰囲気作りをしてくださっています。
 職員が淹れたコーヒーや紅茶にココアをご希望に応じて提供しています。
 人気のココアや糖分入りの飲み物は制限がありますが、お好みの飲み物を片手に、利用者同士や職員とのコミュニケーションの場になっています。
 普段話している人、たまたま席が一緒になった人と話が盛り上がっている様子を見ると、職員も心がほっこりできる時間となっています。

お茶会の様子



お茶会は感染症予防の対策を徹底して行っています。



「にじ」について～入院中の事前訪問～



障害者支援施設「にじ」は社会復帰を目指す訓練に専念できるように、日中の排泄動作が自立している状態での入所をお勧めしています。

しかし、排泄動作が未自立の方も入所の希望をしていただくことがあります。
 そこで、入所前になるべく排泄が自立できるように入院先やご自宅に職員が訪問し、入所に向けて取り組んでいただくことや、その具体的な訓練内容を協議する活動を行なっています。

「にじ」の居住空間は個室の中に車椅子用トイレが設置されており、手すりも片麻痺や対麻痺の方に対応できる環境です。

「居室トイレで排泄動作が自立できるにはどのような取り組みが必要か」
 「排泄以外にも生活動作の自立を目指す上で、準備や練習をしておく必要はないか」

など利用ご希望者だけでなく関係職員の方と情報共有し、対策の検討をすることが出来ます。
 利用希望される方が入所後安全に生活できるように、大分県内だけでなく県外のご希望者にも職員が訪問致します。
 どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



～編集後記～



コロナ感染が拡大しており、また年末年始は雪が降ったこともあり利用者みなさんの多くは外出を自粛されておりました。それに伴い体重が増加する方が増え、毎日のように「間食を控えましょう」と声をおかけしています。
 かく言う私自身も毎年おそってくる正月太り真っ只中です。自宅にいるとついつい口に食べ物を入れてしまいます(涙)
 さらに、先日はコロナ感染による差別的な発言などは避けましょうという張り紙を目にすることがありました。「食べた物で体が作られ、発した言葉で心が作られる」…新型コロナウイルスに振り回されそうになりますが、それをきっかけに改めて自分自身を振り返る機会でもありました。



就労移行支援 OB のお話



～オムロン太陽～



福祉施設・障害者・民間企業の合併会社であるオムロン太陽株式会社別名「車イスのある工場」と呼ばれ社員の約半数が障がいを持たれています（HPより）そちらに就職した2名の方にインタビューを実施し、2回シリーズでお届けしたいと思います。

あの頃ひとりだったら出来なかった… 今の環境に感謝…

別府市在住の男性 A さん。運送業の仕事をしていましたが 20 代後半の時に脊髄梗塞のため車椅子の生活となりました。生活が一変し病院でのリハビリに懸命に取り組み、さらに社会復帰を目指して当施設に入所することとなりました。

入所中は筋トレ等の機能訓練、部屋の掃除や入浴練習など一人暮らしに向けた訓練も行いました。体力が付き車椅子で外出ができるほどになりました。



今回インタビューを受けて下さった A さん

「病院にいた時は何もできなかったけど一通り訓練をしたのが役に立った！一緒に入所していた仲間とコンビニに行き切磋琢磨して頑張った！一人だったら外出していなかったと思う」と当時のことを懐かしく振り返っていました。

訓練を 1 年 10 か月（機能訓練 1 年半、就労移行支援 4 か月）受け、オムロン太陽に就職が決まりました。現在は工場内で制御機器（スイッチ）の検査をする仕事をしています。8 時間勤務で、長時間車椅子に座るのは大変だと思いますが仕事をする横顔はとても充実していました。トイレに少し時間がかかりますが、職場では A さんのペースでトイレ休憩と水分補給を認めてもらっているそうです。また、定期的に“提案書”や“ヒヤリハット”を提出する制度があり、「従業員の声を吸い上げてくれている、ありがたい」と語っていました。また、職場内には福祉系の資格をもったスタッフも多く相談しやすいそうです。

右上へ続く

生活においては、会社から車椅子で 5 分の場所にアパートを借りて一人暮らしをしています。「流し台は車いすでは足が入らないので洗い物が大変」と笑いますが、多くのことをご自身でされています。週末の休みにたまに行くお知り合いの方との映画が楽しみようです。

入所していた頃に比べて頼もしくなったように見えました。A さん、恵まれた環境の中で過ごされているようで安心しました。体調管理には気を付けてプライベートも楽しみながらお仕事頑張ってください！



障害をもった方も働きやすいように環境も整備されており、集中してお仕事をされていました。

退所後のフォローも行っています

「にじ」退所後も、OB 会や職場訪問など、就労のフォローを行います。



就労定着支援事業

障がいのある方が、雇用された企業などで就労を継続できるよう、関係者との連絡調整や雇用に伴い生じる日常生活または社会生活を営む上でのさまざまな問題に関する相談による課題の把握、指導および助言その他の必要な支援などを行います。

利用の対象となる方

就労移行支援、就労継続支援、生活介護、自立訓練のご利用を経て一般就労されて 6 か月が経過した障がいを持つ方で、就労にともなう環境の変化によって生活面や就業面に課題が生じている方が対象となります。

サービスの内容（例）

- ご本人への相談支援（日常生活面・社会生活面の課題の把握と支援）
- 企業や関係機関などとの連絡調整および支援